



志津南

7月号

news

志津南ホームページ
https://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)
世帯数 2,589 総人口 6,817 人
前月より + 3 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
TEL 077-563-6206
FAX 077-558-6810
E-mail shizu373@machikyuu.jp



当初の工事予定より遅れていた若草交差点の横断歩道橋設置工事が始まりました。写真。歩道が狭くなっており、通行が制限される部分もあります。通行の際には、十分ご注意ください。

重機入って工事本格化

大きな重機がビルのような高さで立ち並び、思わず見上げます。長い列になって信号待ちをする登下校の子どもたちを心配する声もあり、見守るボランティアの大人にも緊張が走ります。

無事に11月末の完成を迎えられるよう、一人ひとりが安全を心がけたいものです。

金度源先生の講話を聞く出席者



策定委員は、まち協正副会長と昨年度特別委員会メンバーに、学区13町内からの選出メンバーを加えた全19人です。また、草津市からの支援もあり、策定完了までの全期間を通して外部の力を活用していきます。



防災関連情報

住民の具体的な行動に繋がる計画目指し

防災計画策定委員会が始動

志津南学区まちづくり協議会(四街道治会長)は6月14日、志津南学区「地区防災計画」策定委員会第1回会議を、志津南まちづくりセンターで開催しました。

計画策定に際しては、「震度5強以上」の大規模地震(琵琶湖西岸断層、南海トラフなど)を中心に想定していること、近年被害が甚大化している風水害についても対象とすることが説明されました。また昨年度特別委員会の答申内容が共有され、今後の議論のベースとなります。金先生からは「災害の被害甚大化と避難生活の多様化」についての講話をいただき、今後の議

フリマ・スタッフ追加募集

子どもスポーツフェスタ実行委員会(森本篤人事務局長)は、フリーマーケット・ボランティアスタッフの追加募集を行います。締め切りは7月31日。

「第1回志津南子どもスポーツフェスタ」(10月26日)に向けて出店者、ボランティアスタッフを募集していましたが、フリマやスタッフの応募が少なく締め切りセンターまで。

参加は、各種団体、グループまた個人でも可能です。楽しくイベントを盛り上げるだけでなく、ぜひご応募・ご協力をお願いします。

チラシ、募集要項等詳細はホームページに掲載、まちづくりセンター窓口にも設置してあります。申し込みやご相談はまちづくりセンターまで。

策定委員名簿 (敬称略)

	氏名	所属
委員長	四方道治	まち協会長
委員	高岡昭義	まち協副会長
〃	佐藤恵子	まち協副会長
〃	河辺達也	まち協副会長
〃	白瀧 明	若草八丁目・消防団
〃	大脇正美	若草二丁目
〃	中作 薫	若草二丁目
〃	北村昌彦	若草四丁目
〃	高田篤司	追分南
〃	室積利通	若草一丁目
〃	林 敏夫	若草三丁目
〃	酒井裕義	若草五丁目
〃	川崎芳明	若草六丁目
〃	塩谷京子	若草七丁目
〃	神谷知宏	岡本町西
〃	水野雄一	追分南
〃	竹田昌史	かがやきの丘
〃	片倉健吾	追分鴨田
〃	迫田和幸	コージーガーデン

論の参考となりました。委員会は今後、昨年度「学区の防災を考える」特別委員会で行った課題抽出結果をベースに、災害発生時の避難行動、平時における備えなど、地域住民それぞれの具体的な行動に繋がる計画策定をめざします。議論を進め、より具体的な行動計画に結びつけていく予定で、令和8年2月策定完了を目標としています。

委員会の議事録や関連資料は、志津南ホームページ(https://www.shizu373.net)のまちづくり協議会、理事会議事録から見られます。是非ご覧ください。



笹の葉サーラサーラ♪
今年も志津南まちづくりセンターサロンに天井まで届く笹が飾られました。

強化週間にあわせ広報活動



声かけ訪問する民生委員

強化する活動」をテーマに広報活動に取り組みました。

まちづくりセンターをはじめ町内会館4か所に「支えあう、住みよい社会、地域から」のぼり旗をたて、啓発のティッシュを配置しました。

志津南区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は全国一斉の民生委員・児童委員活動強化週間(5月12日)にあわせて「周知のための取り組みを

地域の絆深める笑顔と熱気



スポーツ振興委員会(植木将太委員長)は6月15日、志津南小学校体育館で志津南区のソフトラレーボール大会を実施しました。

地域の親睦を深める目的で行われたこの大会には6チーム、総勢50人が参加しました。

まず、2つのグループに分かれて総あたり戦でそれぞれ熱戦を展開。最後に、グループの勝者同士が決勝戦を行い、若草バレーチームが見事優勝を果たしました。



熱戦を展開する各チーム

選手たちはすばらしいチームワークと笑顔で会場を盛り上げました。また、応援にも熱が入りました。地域の絆が深まる充実した一日となりました。

これらの活動を通して、住民との関係を築き、子ども、高齢者等の見守り活動につなげていきます。

ウェルカム一年生



若草・岡本西子ども会(坂下華江会長)は5月24日、志津南

まちづくりセンターで一年生のウェルカムパーティーを行いました。13人の一年生と40人の上級生の子どもたちが参加し、交流を楽しみました。写真。

チーム対抗戦でビンゴとクイズを行い、得点制で順位を競いました。「リーチ」「ビンゴ」の声が飛び交い、また、クイズに

受動喫煙防止呼びかけ



志津南区健康推進員連絡協議会(田井和子代表)は6月2日、緑波くるみこども園で受動

正解したチームからは歓声が沸き起こり、会場は白熱した雰囲気になりました。

最後は1位のチームから順番に好きなお菓子を選び、子どもたちは満足気でした。

若返りのひと時



画面に集中する参加者たち

草津市長寿いきがい課は5月30日、志津南まちづくりセンターで出張eスポーツ体験を開催しました。65歳以上対象で、13人が初めての「太鼓の達人」に

喫煙防止と禁煙の啓発活動を実施しました。写真。

退園時、迎えに来た保護者に「たばこの煙は健康を害します。受動喫煙をなくし、子どもの健康を守りましょう」と呼びかけ、啓発ティッシュを配りました。

挑戦しました。

まず初めに打ち方を教わりました。画面に赤丸が流れてきたら太鼓の真ん中、青丸が流れてきたら端をたたくこと、さらに黄色の帯は連打を意味します。

合わせ、青ではバルーンで膝を叩いて一緒に体験しました。皆、回を重ねるごとに上手になっていき、あいまよんのマリーゴールドから始まった体験も皆の上達ぶりにドラえもん、となりのトトロとどんどん曲もス

笑顔で青梅収穫



民児協(浅野謙一会長)メンバーは6月7日、まちづくりセンター裏庭の2本の福祉梅樹の

収穫作業をしました。写真。

これまで花は咲くものの、実がつかない歳が続いていました。諦めず肥料を与え、剪定作業を続けてきたものです。



今月の志津南文庫



されど愛しきお妻様 鈴木大介 講談社



「発達障害で家事力ゼロのお妻様」と、高次脳機能障害の夫が、悪戦苦闘し「超動けるお妻様」「妻を理解できる夫」になるまでの、笑いあり涙ありの実話です。

わたしたちの世代は 瀬尾まいこ 文藝春秋

藤井聡太の名言 桑原晃弥 ぱる出版

竜ちゃんのばかやろう 上島光 KADOKAWA

かがくあそび366 山村紳一郎 誠文堂新光社

たべものくらべっこえほん 高岡昌江 学研教育出版

他

地域とつながり学び広がる

志津南小学校（丹羽浩之校長）では、新しい学年にす
っかり馴染んだ子ども達が元気に学びを広げています。

◆五五交流会

五年生児童は5月27日、緑波
くるみこども園・かがやきくじ
ら保育園の五歳児と交流活動を
実施しました。

遊びやボードゲーム、パズルや
カードゲームと一緒に楽しみま
した。

かがやきくじら保育園では、
戸外で、砂遊びやフラフープ、
おにごっこをして楽ししまし
た。また室内では、小集団に分
かれて、積み木

一緒に遊ぶ五年生と五歳児



か、ままごとや塗り
絵、積み木やボードゲー
ムと一緒に楽しみました。
最初は初めてなので、
様子を伺いながらの活動
でしたが、時間が経つに
つれて少しずつ慣れてき
て、後半は一緒に色々な
遊びを楽しむ姿が多く見
られました。

二期は、園児たちを
小学校に招いて、学校案



アザミの花の色に
はとも引き付けら
れます。



使い分けた棘の鋭さを感じます。

根を強く張って成長するアザ

ミは、枯れたように見えて忘れ
ていても、又花を咲かせます。

(さくらんぼ)

内や楽しんでもらえる活動を
します。今回の交流を生かし
て、内容を考えて準備をして
とを願っています。

◆学校ボランティア始動



サポートに入るボランティア達

いく予定です。二期もお互い
にとって有意義な時間となるこ
とを願っています。

6月12・13日、五年生家庭科
「裁縫」の学習支援に複数の学
校ボランティアの方々が参加し
てくださり、今年度の活動がス
タートしました。

初めての家庭科の学習で、針
に糸を通して玉結びや玉止めを
する学習に入ったところで、苦
戦している児童が多く見られま
した。が、ボランティアの方か
らの声かけや質問に答えていた
だくなど、担任に加えて頼れる

交通ルール守って安全に



草津東地区交通安全協会志
津南支部（素野多加美支部長）
は6月17日、高穂中学校で一年
生364人を対象に自転車交通
安全教室を実施しました。写
真。草津警察署交通課、高穂中
に通学する3つの小学校区の民

生委員児童委員協議会が協力し
て指導にあたりました。

真夏並みの炎天下となりまし
たが、各自通学に利用している
自転車、運動場に引かれたラ
インに沿って走行しました。一
時停止時の確認方法や信号機の
ある交差点での二段階右折の走
行手順について学びました。

草津警察署から三つのルール
を覚えておいて欲しいという話
がありました。「交通ルールを
守りましょう」「しっかりと安全
確認しましょう」「ヘルメット

は顎紐をきちんと締めてただし
くかぶりましょう」。学んだこ
とを忘れず、安全な登下校を心
掛けて欲しいと思います。

みんなで 地域を美しく



追分南町内会（岡島謙二会長）
は6月1日、町内一斉環境整備
を行いました。雨のため、前週
の予定を延期して予備日の開催
となりましたが、多くの人々が
参加し無事に実施することがで
きました。写真。

各組ごとに組内の草刈り・側
溝掃除・ごみ拾い、また隣接す
る公園の清掃作業が進められま
した。各組の清掃範囲に含まれ

ていないかがやき通りやキリン
堂からコメダ珈琲までの道など
は、昨年度に続き各組代表者と
役員により作業を行いました。
子どもも含め、多くの人の参
加で、きれいな環境を取り戻す
ことができました。

元氣いっぱい楽しい時間



元気にプレーするメンバー

若草一味クラブ（菊川洋祐代
表）は6月13日、若草中央公園
で恒例のクラウンドゴルフ春季
大会を開催しました。46人が参
加し、時に笑いあい、時に真剣
に競技しました。

梅雨空でしたが、スタートす
るとボールを打つ音に歓声が響
き、「ホールインワンやったぞ」
「ダメだったかあ」といった声
が広がり、楽しい時間を過ごし
ました。閉会式で成績発表の後、
参加賞を手解散しました。

若草一味クラブは現在、会員
53人、平均年齢80・13歳の高齢
者の集まりですが、この日は週
2回の練習成果を出し切ろう
と、皆元氣いっぱいでした。

歴史旅 鯖街道から小浜へ

明通寺石段を上がる参加者



や海産物を納める御食国の一つであったこと、交通の要衝として重要で文化交流に貢献したこと、食材の運搬には琵琶湖の水運や鯖街道等が利用されたことなどを学びました。その後、鯖街道を小浜へ。

志津南まちづくりセンターは5月21日、ボランティアガイド野津隆さんを招き、教養文化講座第1回「時をつなぐ歴史旅」を開催、17人が参加しました。「小浜古利を巡る」と題し、明通寺・常高寺を巡りました。若狭小浜は、古代に朝廷に塩

806年に建立された明通寺は山の中にあり、本堂・三重塔は国宝に指定されています。これらの立派な構造物・老木と新緑とを静かな雰囲気を楽しみ、薬師如来本尊に参りました。江戸時代初期お初の方の発願によ

やすらぎ学級スタート
志津南まちづくりセンター「やすらぎ学級」は、5月28日、開講式を行いました。



「健康で楽しく運動しましょう」と題して、講師に日本フォークダンス連盟・公認指導者の乗松慎二さんを迎えました。パワフルな乗松さんの声に合わせて、「手のひらを太陽に」等、懐かしい歌に合わせた手遊びゲームをして、頭と体を目一杯使いました。写真。

現在の学級生は27人で、今年度は館外研修も含め、講座を10回予定しています。やすらぎ学級はいつからでも参加できます。60歳以上の皆様のご参加をお待ちしています。

思い出に浸る参加者たち



かがやきの丘地域サロン「なごみ会」(浅野謙一代表)は5月22日、町内会館さくらで「おもいで広場」を開催しました。ふるさと玉川「民具を照らす会」の皆様が、昔懐かしい暮らしの生活用品を展示紹介してくださいました。

昭和の洗濯板や炭火を用いたアイロン、へそくりを入れる隠し引き出しのついた針箱など、参加者の親世代が使用していた民具を懐かしく手に取り、話が弾みました。その後、草津競馬場や天井川の様子など、誰も知らない驚き

昔の民具懐かしむ

り建立された常高寺では、その人柄や生涯を知りました。今回の研修旅行では、大いに知的好奇心がかきたてられたと共に、フィッシャーマンズワーフ小浜で昼食と土産探索も楽しみました。6月18日には教養文化講座第

の映像を鑑賞。昭和の思い出に浸り、楽しい一時でした。

新聞ビリビリ楽しい

子育てサークル若草おやつこクラブ(山出聡子代表)は5月29日、5組の親子が参加し新聞遊びを楽しみました。写真。



今年度は新しく仲間になってくれたお友達が、最初はお母さんにピッタリくっついていてる子もいたのですが、まわりでどんどんダイナミックになっていく新聞ビリビリに自分から参加していく姿も見られました。

送迎支援を受ける利用者



当学区で平成26年より実施している「地域支え合い送迎支援活動」について、改めてご紹介します。

「まんいちほ 社協です」
地域支え合い「送迎支援」活動のご紹介

送迎支援活動は、外出時の移動が困難な高齢者等を対象としています。草津市社協から貸与された自動車を使って、ボランティアが目的地まで送迎する活動で、現在は市内および近隣の医療機関への送迎を優先して行っています。

運転免許証返納等の事情で通院にお困りの方が増えており、昨年度新たに10人の方が送迎支援の利用を始められました。送迎支援をご希望の方は、学区社会福祉協議会(ふれあいハウス「絆」)電話077-507-9407または、お住まいの地域担当民生委員さんにお問い合わせください。

また、ボランティア運転手も募集中です。運転歴10年以上、かつ無事故歴5年以上の方で、手伝ってもいいよと思われる方は、お気軽に「絆」までご連絡ください。

たくさんさんの新聞をビリビリにしたり雪のように降らせたり、家ではなかなかできないような遊び方に子どもたちだけでなく、大人も楽しく大胆に遊ぶことができました。この日の最後にはセンターで咲き終わったジオラの花を摘ませていただきました。摘んだ花

は押し花にして7月の笹飾りの材料にする予定です。これからの活動も楽しみです。
パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽7月25日(金)
8月23日(土)
13時~16時